

フィクショナル・イマジナリー・ミヤザキさん（イン・グリーン
ハイツ・井田）

牛島伸陽（熊本大学）

細く小さな坂を上った先を右に曲がると、イマジナリー・グリーンハイツ・
井田

ここは生協管理物件

六畳間は本当に六畳間で、ベランダは備え付けの洗濯機だけ
風呂トイレは別じゃないので同じ、コンロは当然一口だけ

シンクは大きめの洗面器ぐらい小さくて、どうやって料理するんだろうって
思う

近くにはいつも開いていない喫茶店、「コインランドリー」と書かれたコイ
ンランドリー

中学校や公民館や老人ホームがあるので朝は色々な声がしてかなり人の気配
がある

ミヤザキさんはアレルギーがひどいので

ぴかぴかに晴れた日でも洗濯物は室内干しをするし、大抵は長袖の服を着て
いる

それとぼくはべつにすきなひとでもなんでもないから、という理由だそうで
ショーツもブラジャーもそのままに、物干し竿に無感動に二枚ずつ吊るして
あるので

どれにしようかな、とその日履く下着を選んでいる背中を見ることになる
ミヤザキさんは苗字の刺繍が入った高校のジャージの緑の短パンをよく部屋
着にしている

初めてここに来た時は上からスカートを履いて下から抜き取るように脱ぐ、
あの女の子として育てられたひと特有の特殊スキルを目にしていたけれど